



桐生JCニュース

9月第二例会

わんぱくキャンプ 子どもたちが大活躍!

Vol. 8

制作 総務委員会

9月7日(土)と8日(日)の二日間にわたって、60人の小学生たちが、みどり市にある黒坂石バンガロー・テント村にて、普段あまり経験しない自然の中でキャンプを行いました。

1日目には、みどり市大間々庁舎の円形駐車場に参加者の小学生やキャンプのサポーターたちが集合し、(公社)桐生青年会議所 坂本理事長から開会の挨拶があった後、大間々駅からわたらせ溪谷鉄道の電車に乗って出発をしました。初めて出会う仲間たちと車窓からの景色を楽しみ、沢入駅へと着いた子どもたちはチーム毎に黒坂石バンガロー・テント村へと向かいながら、中継ポイントに用意されたチェックポイントで与えられた課題をクリアして、夕食の食材である野菜や鶏肉などを手に入れました。黒坂石バンガロー・テント村では、緊張した面持ちながら、子どもたち一人一人が包丁を持ち、慣れない手つきで自分たちの夕食の調理に挑戦しました。そして新しくできた友達と夕食を楽しんだ後に、森の宝の地図を作成して就寝しました。

2日目は、早起きして自分たちで握ったおにぎりを食べて、チーム毎に森の宝さがしに出発しました。子どもたちは力を合わせて山神様の社で宝物を見つけました。宝物を見つけた子どもたちは嬉しそうに喜びの声をあげていました。そして、黒坂石バンガロー・テント村から、バスに乗り、みどり市大間々庁舎の円形駐車場に戻り、子どもたちはご家族のもとに、達成感に溢れた笑顔で家族の元に帰り、2日間のわんぱくキャンプは事故もなく無事終了しました。



2013年度 後期新入会員

メンバー紹介

9月5日(木)総務委員会担当の例会において、若さ溢れる勇壮な3人の2013年度 後期新入会員が入会しました。石内宏樹君(31歳)、村岡友介君(30歳)、山崎里沙君(35歳)。以上3人(50音順)は、大変好青年かつ紳士的であり、奉仕・修練・友情を胸に、青年会議所活動を活発に行ってくれる逸材であることに間違いありません。今後の活躍に、心から期待を寄せるところです。



石内宏樹君



村岡友介君



山崎里沙君